

## ■ 事業のセールスポイント

- ・ センシングデータを活用した公民連携スマートプランニングで「楽しい・快適・安全なウォカブルシティ」を構築
- ・ あらゆる世代、あらゆるシーンでスマート技術やデータ利活用の便利さを感じられる「人間中心のまち」を実現
- ・ スマートシティ実現で魅力を可視化し、持続可能なまちの引力(誘客・民間投資・出店・居留意向)を増幅

## ■ 位置図



対象区域は市内中心部

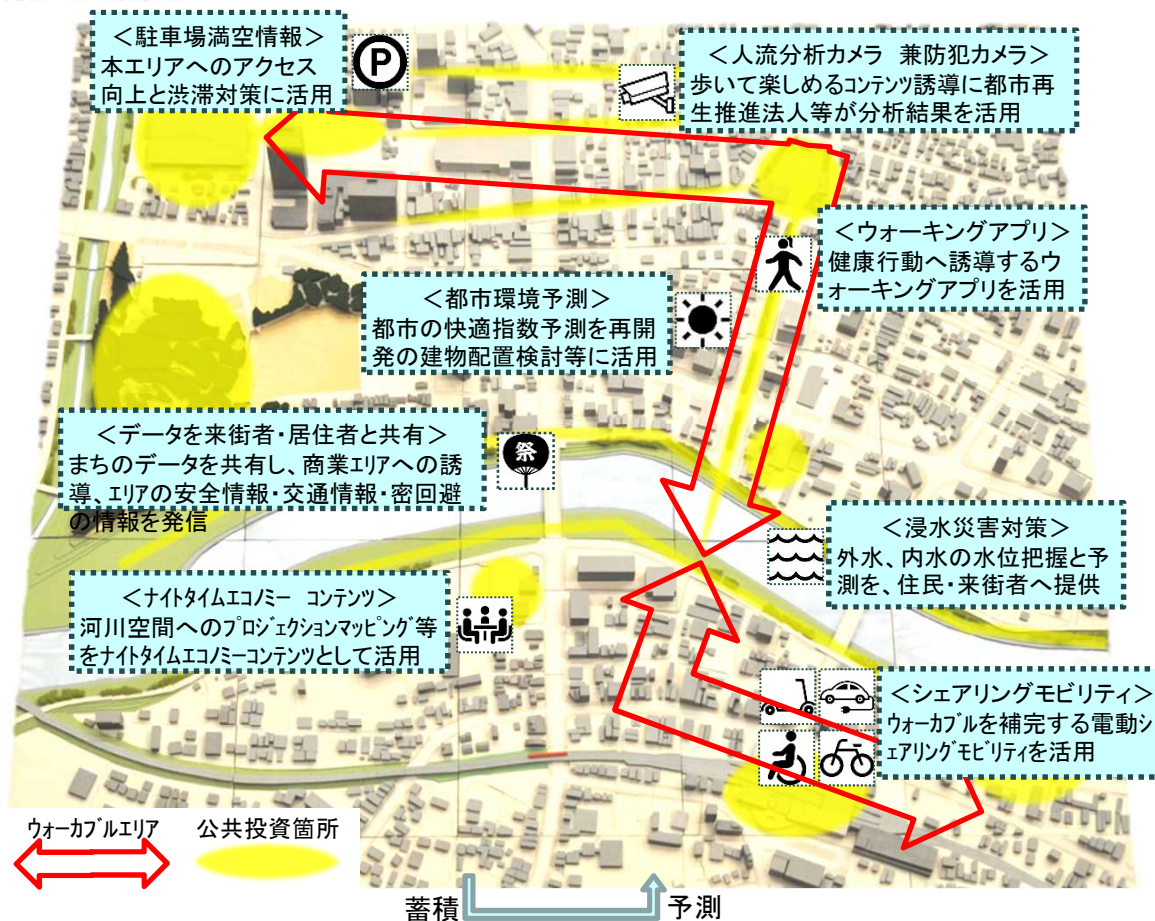
## ■ 対象区域の概要

- 乙川パーフロントエリア
- 面積157ha
- 人口7,800人

## ■ 対象区域のビジョン

- 古くから時代に合わせ柔軟に役割を変化させ、広域で中心的な役割を担ってきたまちの歴史に学び、現代ではスマート技術実装により楽しい・快適・安全なウォカブルシティを構築
- ウォカブルシティ構築と、スマートシティ実現によるまちの魅力の可視化で、誘客・民間投資・出店・居住を惹きつける“持続可能なまちの引力”を増幅させ、“一歩先の暮らし”を実現する中枢中核都市としての役割を担っていく。

## ■ 本事業全体の概要

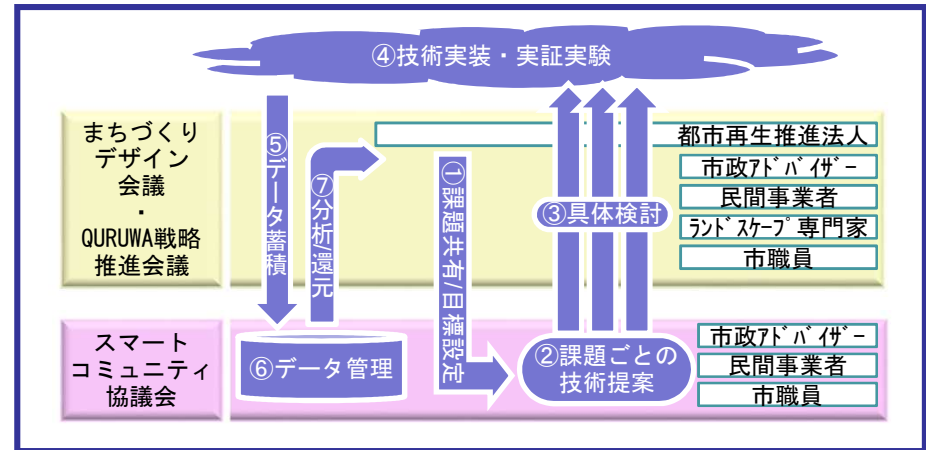


データサイエンスオートメーション型AIによる複合的なデータ分析

## ■ スマートシティの目標(KPI)

項目	KPI	達成年度
エリア内の年間犯罪発生件数 (該当小学校区2019年度296件)	10%減少	2025年度
民間再開発検討件数	達成年度までに 3件実施	2025年度
遊休不動産活用件数	達成年度までに 累計30件	2025年度
人流データとエリアマーケティングソフトの連携を見据えた実験の増加	2件	2025年度

## ■ 運営体制



## ■ 導入技術

楽しい / 快適 / 安全

R2モデル事業 “ウォーカブルなまちのデータを来街者・居住者と共有”

**人流統合分析**

人流カメラ、3DLi-DAR、スマホGPS、断面交通量、事件事故、交通規制等の各データをGIS上に重ね、未来社会創造事業と連携し、密対策や群衆事故防止対策を構築

交通 (P)

個人デバイス

お買得

密防止

デジタルサイネージ

河川水位

人流カメラを組み込んだデジタルサイネージを設置し、閲覧者属性(性・年代)に合わせた映像コンテンツを表示。商業エリアへの誘導、エリアの安全情報・交通情報・密回避の情報を発信する。

**実装済み・一部実装済みの技術**

H29.10～稼働  
アプリ活用サイクルシェア事業

R2.3設立  
エネナ地域電力小売会社

R2.4～稼働  
ウォーキングアプリ

R2.3構築  
駐車場満空情報提供

R1.7～一部実装  
歩行人属性推定技術

顔認証技術で歩行人の性年代を推定・データ蓄積。R1年度6台常設、R2年度12台設置予定。民間投資・出店の誘導や、感染症対策効果の測定

R1.8～一部実装  
人流動線把握技術

三次元赤外線センサーで歩行人数・密度・経路を把握。群衆誘導や密回避に活用

**実装予定の技術**

水位予測技術

スマートメーター通信網で取得する雨量と水位のデータから予測アルゴリズムを構築。予報情報で水位を予測。データ提供は予測データとリアルタイムデータの両方を行う。

都市環境予測技術

熱流体シミュレーションによる環境予測技術を活用。街区、通りの気流・温度・湿度・暑さ指数等からまちの環境を分析し、再開発や住民・来街者への情報提供に活用。

ウォーカブル補完モビリティ

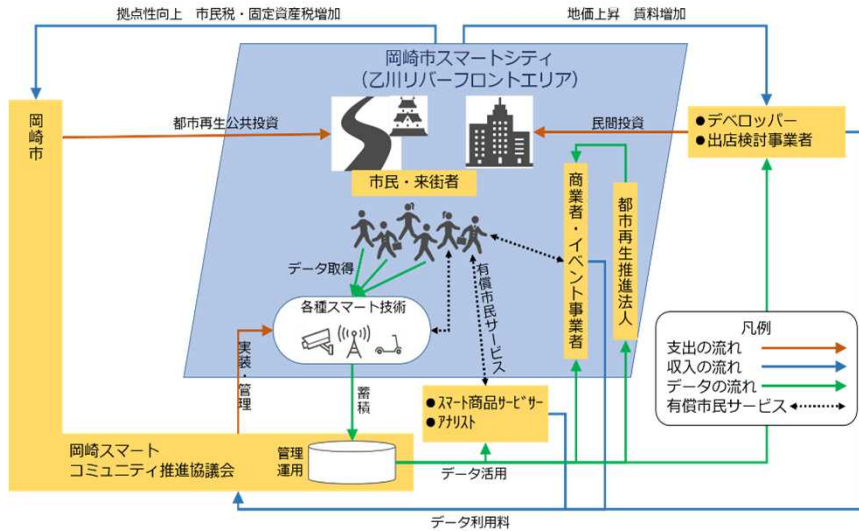
電動マイクロモビリティのシェアリングやデマンドバス運行、特にシニアカーシェアリングでは安全ナビゲーションと運行の見守りを行う。

異常行動検知技術

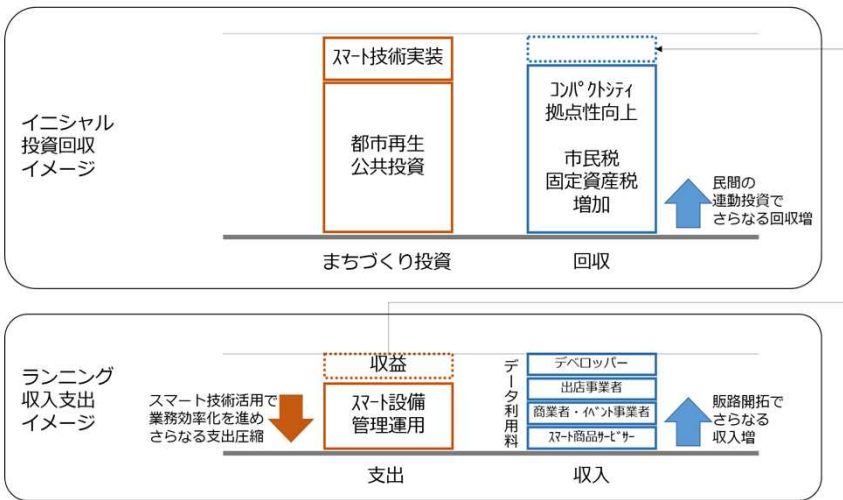
カメラ画像の骨格抽出による異常行動解析を行い、トラブル発生時にはアラートを出すなどの防犯対策を行う。

## ■ ビジネスモデル

スマートシティの実現により、居住者・来街者の便利な暮らしだけでなく、**都市経営の原資確保**にむけたビジネスモデルを構築



都市再生と連動したスマートシティの投資回収モデル



## ■ スケジュール

技術の導入・実装

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
アプリ活用 サイクルシェア	実装						
エネナ地域 電力小売会社	設立	実装					
ウォーキングアプリ	開発	実装					
駐車場 満空情報	開発	実装					
通行人属性 推定	実装						
人流動線把握 (3D-LiDAR)	実装	リアルタイム人流データ共有実装					
災害被害予測		システム開発		実装			
ウェアラブルIoT			実証	実装			
ウォーカブル補完 モビリティ			開発・実証		実装		
異常行動検知		開発・実証			実装		
人流統合分析		開発	分析:スマートプランニング実装 (ストリートプランニング・人流ハリア分析)				

社会の変化・ビジョンの実現

	2020~2025	2025~2030	2030~
公共投資	公共投資の効果測定 データに基づく効果最大化策の実施		
民間投資	民間再開発におけるデータ活用100%	スマート性能を備えた民間再開発	
民間商業	出店検討事業者によるデータ活用 出店後の営業分析データ活用		
誘客	来街者のスマートシティ利便性実感(アンケート)	来街者の増加	
居住	現居住者のスマートシティ利便性実感(アンケート)	新規居住者の増加	

## R1.12議決 岡崎市総合計画基本構想(総合政策指針)抜粋

“一步先の暮らしで三河を拓く 中枢・中核都市おかざき”

行政・学研機能やさならなる商業機能の集積、新技術のまちづくりへの活用を通じて、利便性や先進性の高い暮らしが実現できる都市

…暮らしを楽しむまちとして市民や民間事業者に選ばれる都市

…新技術の普及により生活利便性が著しく向上した社会にあっても、まちを楽しむ人が集う将来を見据えて

利便性の  
高い暮らし



まちを楽しむ  
人が集う将来



Physical Data

Insight Data



人流や地価などのフィジカルデータのみならず、意識調査やSNS分析等で明らかとなるインサイトデータを組み合わせ、社会資源として共有



可視化されたまちの引力が「スマートなこのまちで〇〇したい」を増幅